

第 1789 回例会報告

令和5年6月11日(木)雨

会長告知

第1789回例会

私は雨男でしょうか？

里山整備・岩村先生追悼例会

担当 青少年奉仕・社会奉仕委員会

会長 萩田 均

今日は大変に申し訳ありません。4月の里山整備・岩村先生追悼例会、雨のための仕切り直しのところ、4時より雨となってしまいました。準備にご苦労をかけた小笠原委員長、すみませんでした。自然には太刀打ちできません。

昨日、地区の会員増強セミナーがありました。

個人名や、クラブ名は一切言っていないませんが、近隣クラブの足を引っ張る行為はやめてほしいと発言しました。近年、クラブのテリトリーは廃止されているはずですが、「なぜうちの



クラブでなく、そっちのクラブなのか」の言葉を言われたとメンバーから相談を受けました。私も何気のない発言により、人を傷つけることはあります。人間は社会生活、コミュニティーにより成長をする動物です。向いている方向として、サロンのクラブと運動体のクラブでは全く異なる組織です。若いメンバーには酷な質問でしょう。厳しい答えをすればそれぞれが傷つきます。直せないこと、元に戻せないことを話すことは何も生みだしません。他のクラブでも敬意をもって接することは大切なマナーです。どんな場面においても思いやりと、優しさを心掛けたいと思った出来事でした。

本日もあいにくの雨となつてしまい、里山に登ることができませんでした。たとえ天気の良いとはいえ、貴重な例会を2回も続けて開催できなかったことに対し、例会のために週末の予定をあけておいていただいた諏訪湖ロータリーの会員の皆様には本当に申し訳なくないと謝罪していいものかわかりません。

このような梅雨の時期に里山整備を入れてしまったのは大きな反省点ですし、当然予備日も取っておくべきであったかなと思います。次期は中学生達も集めて里山整備例会を開催することになるかと思いますが、その際は天気も含めた日程設定も重要となるかと思っています。次期社会奉仕委員・青少年奉仕委員の皆様にはそのあたり何卒ご考慮頂きたく存じます。また、子供たちと里山整備を開催する前にやはり山林の現在の現状把握のために、一度近いうちに山に登る必要があると思います。例会という形がいいのか有志で行くのがいいのか、検討の上梅



宮坂源吉さんと小笠原委員長

雨明けあたりに開催できればいいと思います。

里山例会中止の後、今までも里山の整備の指導をいただいている宮坂源吉さんを訪ねてみました。大変優しく腰の低い方で、今回2回キャンセルしてしまったことに対しても全く気を悪くされてもいませんでしたし、いつでも里山整備の時は連絡してくれとのことでした。諏訪湖ロータリークラブに対しても大変好意をもたれているようでしたので安堵いたしました。

なお、宮坂さんから今年のお舟祭りのお舟の材料としてブナの下枝が欲しいので、7月末にブナの森に入って剪定もかねて枝を切らせて欲しいとのことでしたので、お役に立てるものならロータリアンも喜んでくれると申し上げておきました。



故溝口幸二会員を偲ぶ会

6月8日故溝口幸二会員を偲ぶ会が故溝口会員奥様、ご子息の溝口英二様、溝口幸二会員奥様をお迎えして開催されました。

読経に始まり、萩田発起人の言葉、会場に参加した多くの皆さんによる思い出、ご子息の溝口英二さまからのお言葉などをいただき大変有意義な、思い出深いひと時を過ごしました。改めて故溝口幸二会員のご冥福をお祈りいたします

故溝口幸二ロータリアンを偲ぶ会に寄せて

2022年12月18日突然の訃報に「うそでしょう」と思ったのは私だけではなかったと思います。3日前の例会ではzoomではありましたが、元気な顔を拝見して、お話ししましたので、にわかには信じられませんでした。

思い出は尽きることなく脳裏に浮かびます。私は11期の入会なので第9期に会長をされている溝口先生の姿は知りません。里山整備に諏訪湖清掃に積極的に子供たちの中に入って、談笑する先生、ロータリー世界大会の話を、目を輝かせ話す溝口先生、超我の奉仕賞をいただいた姿を思い出します。ロータリアンとしてこの方を超えることは決してできないことと、今も感じています。私たちの大切なロータリアンを失ったことは本当に残念なことです。

発起人 萩田 均

